

T・G・A・L～校長室だより～

令和2年12月4日（金）発行 第19号

○ 4・5・6・7・8組 共同制作 “

北館と南館2Fにかかる渡り廊下の掲示板に4・5・6・7・8組が作成した今話題の「鬼滅の刃」をイメージした大型貼り絵が展示されています。美術の時間に制作を行い、完成までに約3か月半かかったそうです。合計21,000枚の1cm角の色紙で形作られている、とのことでした。

渡り廊下で展示した後は、来年1月に市立美術館で開かれる倉敷っ子なかよし作品展に出品予定です。渡り廊下を通る時は足を止めて力作をご覧ください。



○ 2学期末考査・・・出来はどう？

12月3日（木）4日（金）に2学期末考査に臨みました。試験対策の「放課後質問教室」には、各学年15名～25名の生徒が参加し、自主勉強したり、先生に質問して教えてもらったりしていました。

私も各教室を回ったのですが、各学年でそれぞれのカラーがあり、よく取り組んでいました。たまたま、勉強している3年生の学習計画表を見せてもらったら、先週土曜日の学習時間が13時間、日曜日の学習時間が14時間（逆だったかも）の強者もいました。改めて目標を定めた人の取組は半端ない、と思いました。

私の中学生時代はずいぶん前ですが、勉強が辛くなると、台所に行ってココアをつくって飲んでいたことを思い出しました。なぜかココアを飲むと頭が良くなると思いついていたのでしょうか。

会議室で行っている恒例の朝学習も、寒くなってきた時期にも関わらず、20名近くの生徒が参加し、黙々と頑張っています。自然と頭が下がります。放課後質問教室に残らない人に校門付近で、「昨日勉強した？」と聞いたら、「結構やった。」「4時間やった。」とか返ってきました。皆さんの努力が良い結果で帰ってくることを祈念しております。

“努力の上に花が咲く”（2回目）

